



四季

第10号(2学期終業式)

～四中の季節～

教育目標

- 自分で考え進んで実践する人間
- 公共心に富み情操豊かな人間
- 勤労を尊び責任を重んじる人間
- 健康でたくましい人間

令和5年12月25日発行

校長 関 勝 志

〒187-0045

小平市学園西町1-3-1

☎ 042 (341) 4344

Mail gakkou@34.kodaira.ed.jp

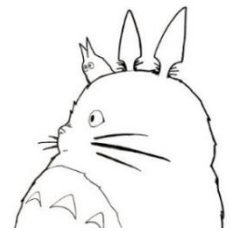
『夢と目標』

校長 関 勝 志

この2学期、1・2年生は、校外学習や職場（お仕事）体験、防災学習など、体験的な活動が数多くありました。また3年生は、修学旅行を境に進路選択のための活動が中心となり、学習にも意欲的に取り組んでいました。どれも生徒たちの将来につながる大切なものです。

小平四中の学校経営方針の中に「夢や目標をもち、たくましく将来を生き抜いていく力を育成する」というものがあります。3年生の高校受験に向けた面接練習で「将来の夢や目標はありますか」と質問したところ、多くの生徒が具体的な夢や目標を笑顔で話してくれました。また、生徒アンケートで「自分の将来について真剣に考え、具体的な夢や目標をもとうとしている」と回答した人は73%でした。

夢という言葉にはいくつか意味があります。睡眠中にあたかも現実の経験であるかのように見える夢や現実離れした空想、心の迷いやはかないことも夢と表現したりします。幼かった頃に「大きくなったら、テレビマンガのヒーローやアニメのキャラクターになりたい」なんて夢をもちませんでしたか。ちなみに、私は「もしも夢が叶うのであればトトロになりたい」と思うことがあります。また、毎年のように「宝くじが当たる」夢を見ています。夢にはどこか壮大なイメージやワクワク感があったり、実現する可能性を度外視して使われたりすることが多いです。



もう少し現実的に考えると、夢とは将来実現させたいこと、目標です。夢をより具体的にし、行動を伴うものが目標と言えるかもしれません。例えば、旅行がしたいと思ったときに、行きたい目的地が決まると、どんな経路で行くのかを考えることになります。飛行機を使うのか、電車を乗り継ぐのか、自家用車で行くのか、とるべき行動を決めることができます。それと同じように、将来実現させたい目標が決まれば、今何をしなければならぬのかを考えます。「目標は今に大きな影響を与える」ものです。

よい目標は、自分の力を最大限に発揮させます。それではどんな目標を立てるのがよいのでしょうか。それは「届きそうで届かない、でも頑張れば届くかもしれないような目標」だと思います。今年の流行語大賞は「アレ(A.R.E.)」に決まりました。日本シリーズを制した阪神タイガースの岡田監督がちょうど1年前に考えたチームスローガンです。「コレはすぐ手が届くが、アチラは遠い、アレはもう少しでたどりつく」という意味だそうです。

「経営の神様」の異名をとる、松下幸之助さんが、「夢と希望と現実と」という言葉を残しています。

夢や希望を持つことが大事だからといって、それにとらわれて、みずからの立場なり現実の社会というものを忘れてしまっはいけません。それでは夢があくまでも夢のままに終わる。けれども、われわれは現実に照らして一段高い目標を定め、これにしたがって日々の仕事を着実にすすめてゆくならば、その夢がしだいに現実化してくるのだと思う。また、そういうところに人生の喜びというか、いわゆる生きがいというものを感ずることができるのではないだろうか。

夢や目標は、人生を切り拓いていく原動力になります。生徒たちには、自分の夢を描き、よい目標を立ててほしいと思います。

今回、生徒会役員が、クリスマスのメッセージレターを企画しました。これは「笑顔の輪を広げる」という生徒会の目標を達成するための取組です。具体的な行動に移しているところが立派です。

小平四中の目標は、「誰一人とり残さない学校」です。そのためには、生徒が学校生活の大半を過ごしているクラスがとて大切で。先日、学級委員と校長が懇談しました。クラスのPRをしてもらい、良いところや改善点などについて意見交換しました。「仲が良い」「思いやりがある」「団結している」など、どのクラスにも良いところがあるのが分かり、嬉しかったです。

その反面、気になる話もありました。悪口や陰口、冷やか、イジリ、他人の物を勝手に使うなどの問題点を、多くの学級委員が指摘していました。イジリとは、面白半分にも人をもてあそんだり困らせたりして楽しむことです。笑いが起こってその場の雰囲気や盛り上がるようなこともありますが、これはイジメです。イジメをなくすためには、クラスの問題から目を背けず、「それは良くないこと」「止めなよ」と意思表示しなければいけません。さらに、「イジメか、イジメじゃないか」ということよりも、「相手のことを大切にしているか」という視点が大切です。「誰一人とり残さない学校」をつくるため、生徒たちには、友だちの心を大切にしてほしいと思います。

保護者や地域の皆様には、今年一年、大変お世話になりました。ありがとうございました。よいお年をお迎えください。